

日本バプテスト連盟 全国壮年会連合

東京地方壮年連合通信 vol.88

TOKYO SOUNEN RENGOU TSUUSHIN 2021年3月13日

あなたのパンを水に流しなさい

日本バプテスト富里教会協力牧師 岡田 久

私は高校2年生の時に、青森バプテスト教会でバプテスマを受けました。

その時、堺牧師から「岡田君、西南学院に行かないかね。」と声をかけられましたが、牧師の仕事にあまり魅力を感じていなかった私は、岩手大学に進学し、盛岡バプテスト教に転会しました。この大学4年間、わたしは不思議な導きで三沢のカルバリー教会女性会から、毎月10ドル（当時3600円）の奨学金を送っていただきました。

「神学生のわたしでもないのにどうして」と思いながら、貧しい家庭で育った私にとっては、大いに助かりました。

当時は70年安保で、わたしも学生運動に関わりました。ちょうど私が大学3年の時に、父が癌でなくなり、母と3人の弟の世話のため、就職活動に切り換えざるを得なくなりました。まだ宗教で生計を立てることに抵抗を感じていた私は、公務員の道を選び、青森県庁に採用されました。そして約10年間、青森県の畜産関係の農業技師として主に鶏の品種改良や飼養管理の試験研究に励みました。

職場の自治労の組合活動をする中で、初めて自分の罪に気づかされ回心をしたのを覚えております。県の職員となってからは、八戸バプテスト教会に転会し、主に伝道執事をしながら家庭集会にも励みました。そしてとうとう、私は三度目の正直で、伝道者となる決心をして神学校に入ることにしました。そして30歳の時東京神学大学（日本基督教団立）に編入学する事になりました。

わたしが西南ではなく東神大に進んだものですから、当然奨学金の恩恵にあずかることはできませんでしたが、幸いアパートの管理人をしながら、4年間学ぶことができました。この間、東北連合の壮年会から、わたしを知っていて下さる方々のご厚意によって、個人的に奨学金を送っていただいたことは大きな励みとなりました。「あなたのパンを水に流すがよい。月日がたって



からそれを見出すだろう。」(コヘレト 1 1 : 1) 一教会の女性会からの奨学金、壮年連合からの奨学金、それは必ずやがて時がたってから、その実りを見出すとみ言葉は約束しています。そしてそのことは現実となりました。献身してからちょうど 40 年の節目に、連盟の牧師を引退しますが、残りの人生も福音の種を蒔き続けてゆきたいと願っています。

今、よみがえる創世記の世界—進化論と聖書の対話

日本バプテスト目白ヶ丘教会会員 小山 清孝

創世記第 1 章に始まる、人間を含む天地万物の神による創造は、聖書全体を貫く通奏低音として、また、キリスト教の礎石として極めて重要であることは、今さら申すまでもありません。一方、純粋な科学理論として、1859 年に、ダーウインによって著された「種の起源」を嚆矢とする進化論は、あたかもこれと真っ向から対立するように見えることから、これまで様々な議論がなされてきました。特に、原理主義的な一部のキリスト教徒は、進化論は無神論者による悪魔の科学とさえ決めつけて、これを排撃し、他方、無神論者は、キリスト教は、科学を無視する愚かな宗教であると攻撃してきました。これらの中であって、キリスト教の主要な各派は語るべき言葉を持たず、ただ沈黙を決め込んできたように思われます。この背景には、たとえごく僅かであったとしても、従来の進化論には、仮説として攻撃される余地があったこと、そして他方では、聖書を、あたかも科学教科書のように、そこに書かれていることを事実として、そのまま受け入れるべきだという誤った聖書理解があった事によるものと思われます。



この数十年にわたる分子生物学の発展は、目を見張るばかりで、進化論は、仮説ではなく、真の科学理論として、もはやゆるぎのない真理として確立されました。それを真理として受け入れた時、真理と真理は互いに共鳴しあい、さらに豊かな真理、福音の世界へと広がっていくことを、私はアレクサンダーの「創造か進化か—我々は選択せねばならないのか」の翻訳を通して知ることができました。そして、はるか遠い昔、西アジアで生まれ、一方では神話とも呼ばれている創世記の世界が、罪や死の問題はもとより、現代に生きる私たちに、地球環境問題、自然災害、パンデミックなどに対する、一つの重要な指針を与えるものとして、生き生きと迫ってくること、改めて気づかされました。今回の講演で、皆様とこれらのことについて分かち合えればと願っています。

2020 年度第 24 回研修会のご案内

日本バプテスト連盟東京地方壮年連合

「今、よみがえる創世記の世界—進化論と聖書の対話」

講師：小山 清孝氏

毎年、2 月に実施してきた東京地方壮年連合の研修会、本年度はコロナ禍の中、実施が危ぶまれましたがオンライン形式で実施可能となり、小山 清孝氏をお迎えし 3 月に研修会実施の運びとなりました。多数の皆様が参加されますようご案内申し上げます。

日 時：2021 年 3 月 20 日（土曜日：春分の日）13：30～15：00（質問時間含む）

参加形式：Zoom によるオンライン会議形式

講演概要：

ダーウインが「種の起源」を著して、150 年以上の年月が経ったが、未だに、進化論と聖書の間には、大きな壁がある。現在、目覚ましい発展が続けている分子生物学によって、より一層明確になった進化論を通して、地動説がそうであったように、神の創造の業の素晴らしさに別の観点から目を注ぐ。そこから、地球環境問題、生物多様性の保護など、現代に生きる私たちは何をすべきかを共に考える。

講師紹介：

小山 清孝（おやま きよたか）：九州大学卒、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）Ph.D.（化学）。工学博士。民間化学会社研究所長などを歴任。国連、OECD 等の国際機関に民間委員として参与。著書：「黎明よ、疾く覚めて闇を打て！」（小説—ペンネーム：仰木望）、「今、よみがえる創世記の世界；進化論と聖書の対話」。翻訳書：「創造か進化か；我々は選択しなければならないのか」（デニス・アレクサンダー著）。リーゼント・カレッジ客員研究員（科学と神学）。目白ヶ丘教会員。

【参加方法】

ご参加をご希望の方は、2021 年 3 月 20 日午後 13：00 以降、下記 URL をクリックすれば参加できます。

<https://us02web.zoom.us/j/87322554109?pwd=NFc1Qk1wOUlxVWhleHhGYVIDRFBIUT09>

ZOOM 参加後、「参加しました」とだけ記入したメールを、keiri@tba-jbc.org 迄送って頂ければ幸いです。

Zoom 参加に関する問合せは shunsuke.matsuda@gmail.com（松田俊介）までどうぞ。

東京地方壮年連合の奉仕者募集

近年の東京地方壮年連合は、慢性的な役員奉仕者の不足にあります。正規には11名の役員を要するところ、2020年度は6人の役員でスタートするも途中で3名の役員が退任されました。就きましては、来年度2021年も引き続き役員の募集をさせていただきます。

できるだけ多くの役員を擁し役員の重任を避け、多くの教会からの一人でも多くの参加による多くの教会の希望を反映した公平で開かれた東京地方壮年連合の姿が理想的です。

そのような東京地方壮年連合運営ができますよう、多数の役員のご推薦並びに立候補を是非ともお願い致す次第であります。候補者多数の場合は、選挙にて決定されますが。候補者がなければ、若干の役職を現役員が継続兼任を余儀なくされることとなります。

隔月奇数月の2か月に1回 第2土曜日 10:00～12:00、新宿区内の教会をお借りして役員開催しています。交通費も支給されます

現在、事務局長、会計、広報、伝道、神学校献金推進委員、監査役、南ブロック委員、北ブロック委員、選挙管理委員等、9名の委員が欠員です。正式な手続きを踏んで決定します。

詳細や疑問点は、下記役員にお気軽にお問合せください。お問合せ先：坂口（080-6552-2555 E-mail: sakaguchi-m@ac.auone-net.jp）

* 講演の基となった本を購入されたい方々へ

「創造か進化か；我々は選択しなければならないのか」(デニス・アレクサンダー著)：

A5版・504頁・2,800円：「今、よみがえる創世記の世界；進化論と聖書の対話」：

1,100円

いずれの発行も、(株)ヨベル Tel 03-3818-4851；e-mail info@yobel.co.jp

現役員： 会長・会計：坂口昌彦・書記：栗本岳尚・東ブロック委員：志築正治
西ブロック委員：藤田 博

発行人：東京地方壮年連合会長 坂口 昌彦

編集人：栗本 岳尚